

2011年度

科目名	日本文学講読Ⅰ			
担当教員	鈴木 利一			
配当	日文1(2111)		コード	44008
開期	後期	講時	木曜日4限	単位数 2
授業テーマ	上代日本文学入門			
目的と概要	日本上代文学の基本文献である萬葉集の読解を通して、上代文学全般への入門としたい。			
成績評価法	講義への参加状況(40%)、課題の提出状況(40%)、課題に取り組む姿勢(20%)等を勘案し、総合的に判断します。			
テキスト	佐竹昭広・木下正俊・小島憲之編『補訂版 萬葉集 本文篇』塙書房			
参考書				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	受講準備にあたっては、現代語訳付きの原文テキストや注釈書類で、現代語訳された作品と原文のままのものを対比しながら一読しておくとう理解が深まります。受講後は、さらに詳細な語注や考察部分を含めて読破することをおすすめします。			
講義計画				
上代日本文学は仮名文字以前の成立であるため、諸作品はすべて漢字で記されています。そのため、原典表記をいきなり眺めた場合、一見それは難解きわまりない印象を受けることでしょう。しかし、実はそこに上代文献を読む醍醐味が隠されてもいるのです。とりわけ、その中心作品である萬葉集は、異国の文字である漢字で日本独特の文学形式である「うた」を記すという苦心の営みの成果であり、その存在自体が、当時の国際文化交流の産物であるとも言えるからです。この講義では、その収録作品を丹念に読み進めることを通して、萬葉歌の文学史的、日本語史的な意義を明らかにしていきたいと考えています。必要に応じて、関連諸学での文学作品の取り扱い方にもふれ、総合的な視点から作品を見る姿勢を養っていく予定です。基本的には講義形式とし、著名な萬葉歌を読み進めることを通して、萬葉集を原文のまま読み解くための方法や基礎知識を、文学的かつ語学的に解説していきます。講義内容は以下の通りです。				
①萬葉集概説（１－３回） ②斉明朝の文学―初期萬葉歌―（第４－６回） ③天智朝の文学―額田王作歌―（第６－８回） ④天武朝の文学―人麻呂歌集―（第９－11回） ⑤文武朝の文学―人麻呂作歌―（第12－15回）				